

AIDS UPDATE

No.51 2005.2.2

広島大学病院

エイズ医療対策室

内線5581 (輸血部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

平成16年度 広島大学病院職員工エイズ研修会

日時: 2005年3月11日(金) 17:30~19:30

会場: 広島大学病院外来棟3階大会議室

演者: 味澤 篤(都立駒込病院感染症科)

演題: 「こんなときエイズを疑ってほしい」

— HIV急性感染症の実際

■ 現在、エイズを発症して病院へ運ばれてくる「いきなりエイズ」の患者さんや、原因不明の症状に自らがHIV抗体検査を申し出る患者さんの報告を聞くことがあります。こうした状況で、医療従事者がいち早くHIV/AIDSを疑い、検査を勧めるなどの対応が望まれています。

■ 診療は皮膚科、歯科、呼吸器内科、等々全科にわたります。医療従事者、関係者の方々には、ご都合お繰り合わせのうえ、ぜひご参加ください。

第7回 アジア・太平洋地域エイズ国際会議

■ 第7回アジア・太平洋国際会議のメインテーマは、「科学とコミュニティの英知の統合」です。

■ HIV感染症の治療をとりまく状況は、抗HIV薬の開発により、めまぐるしく変化しました。薬の服用を続けることでAIDSの発症を遅らせ、以前と変わらない生活を送ることができます。しかし一方で、薬の副作用や、セクシャリティー、心理的・経済的問題など、感染者の抱える問題は複雑で、多領域にわたった支援が求められます。

■ 今回の会議は、HIV/AIDSをめぐるこうした状況をふまえて、アジア・太平洋地域におけるすべてのコミュニティ

間の連携をはかり、エイズの予防・治療・ケアに多くの人が平等に参加できるよう、また、それぞれの成果を共有することを目的に開かれます。

■ 前回のメルボルンでの開催から、今回は日本に場所を移し、2005年7月1日(金)~5日(火)の5日間、神戸国際会議場、神戸国際展示場、ポートピアホテルで開催されます。国際会議は、新しい知識や情報だけでなく、自分の国以外の状況を生の声で聞くことのできる貴重な場でもあります。多くの方の参加を期待します。

2004年末現在 HIV/AIDS 最新情報

■ 英文原書は国連合同エイズ計画より発表された”AIDS epidemic update, December 2004”です。エイズ予防財団の翻訳です。

■ この報告書では、世界のHIV/AIDS流行拡大の最新の進行状況を知ることができます。2004年版は地図・地域概要とともに、流行拡大による影響の範囲と人的犠牲の程度について、最新の評価がなされています。さらに、女性とAIDS (women and AIDS) について、特別に考察を加えているのが特徴です。

■ A4版で90ページほどの冊子です。ご希望の方は下記エイズ医療対策までご連絡ください。

<ご意見募集>

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部(5581)までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]

nobotaka@hiroshima-u.ac.jp